

医薬品を正しく購入するための 説明文書

第1類医薬品

服用前には必ず添付文書を読んで下さい

〔注意事項〕

1. 本紙の内容は、お客様が医薬品を購入・選択時に、役立たせるために必要な情報です。
2. 服用後、体調に変化等があった場合(副作用など)には服用を中止し、すぐに購入された店舗の薬剤師にご相談下さい。

1	名称	ファモチジン錠M
2	成分・分量	1回量(1錠)中 ファモチジン 10mg ※添加物は外箱、添付文書を参照
3	用法・用量	胃痛、胸やけ、もたれ、むかつきの症状があらわれたとき、次の量を、水またはお湯でかまずに服用してください。 成人(15歳以上80歳未満): 1錠、1日2回(2錠)まで 小児(15歳未満): 服用しないで下さい。 高齢者(80歳以上): 服用しないで下さい。 <ul style="list-style-type: none">・ 服用後8時間以上たっても症状が治まらない場合は、もう1錠服用してください。・ 症状が治まった場合は、服用を止めてください。・ 3日間服用しても症状の改善がみられない場合は、服用を止めて、医師または薬剤師に相談してください。・ 2週間を超えて続けて服用しないでください。
4	効能・効果	胃痛、胸やけ、もたれ、むかつき (本剤は、胃のヒスタミンH ₂ 受容体に拮抗する薬を含んでいます)
5	保健衛生上の危害を防止するために必要な事項	1. 次の人は服用しないでください。 (1) ファモチジン等のH ₂ ブロッカー薬によりアレルギー症状(例えば、発疹・発赤、かゆみ、のど・まぶた・口唇等のはれ)を起こしたことがある人。 (2) 医療機関で次の病気の治療や医薬品の投与を受けている人。 血液の病気、腎臓・肝臓の病気、心臓の病気、胃・十二指腸の病気、ぜんそく・リウマチ等の免疫系の病気、ステロイド剤、抗生物質、抗がん剤、アゾール系抗真菌剤 (白血球減少、血小板減少等を起こすことがあります) (腎臓・肝臓の病気を持っている場合には、薬の排泄が遅れて作用が強くあらわれることがあります) (心筋梗塞・弁膜症・心筋症等の心臓の病気を持っている場合には、心電図異常を伴う脈のみだれがあらわれることがあります) (胃・十二指腸の病気の治療を受けている人は、ファモチジンや類似の薬が処方されている可能性が高いので、重複服用に気をつける必要があります) (アゾール系抗真菌剤の吸収が低下して効果が減弱します) (3) 医師から赤血球数が少ない(貧血)、血小板数が少ない(血が止まりにくい、血が出やすい)、白血球数が少ない等の血液異常を指摘されたことがある人。 (本剤が引き金となって再び血液異常を引き起こす可能性があります) (4) 小児(15歳未満)および高齢者(80歳以上)。 (5) 妊婦または妊娠していると思われる人。 2. 本剤を服用している間は、次の医薬品を服用しないでください。 他の胃腸薬 3. 授乳中の人は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けてください。

5	<p>保健衛生上の 危害を防止 するために 必要な事項</p>	<p>次に該当する人はお申し出ください。</p> <p>(1) 医師の治療を受けている人又は他の医薬品を服用している人。 (2) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。 (3) 高齢者（65歳以上）。 （一般に高齢者は、生理機能が低下していることがあります） (4) 次の症状のある人。 のどの痛み、咳および高熱（これらの症状のある人は、重篤な感染症の疑いがあり、血球数減少等の血液異常が認められることがあります。服用前にこのような症状があると、本剤の服用によって症状が増悪し、また、本剤の副作用に気づくのが遅れることがあります）、 原因不明の体重減少、持続性の腹痛（他の病気が原因であることがあります）</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>この薬は決められた時間ごとに服用する薬ではなく、症状が出た時に服用する薬です。食事による影響はありませんので、食前・食後・食間いつ服用いただいても結構です。</p> <p>1回1錠で約8時間胃酸の出過ぎをコントロールしますので、1日2回服用する場合は8時間以上あけてください。</p> </div>
6	<p>薬剤師が 必要と判断 する事項</p>	